

## 2024年3月山行 四季の山・冬山「硫黄岳」報告

朝井紀久子

- \* 日程：2024年3月23日（土）～24日（日）
- \* 場所：硫黄岳 2,760m（八ヶ岳）
- \* 参加者：高倉洋一、塚越和子、那須朋美、平本真二郎、平本美恵子、  
朝井紀久子(SL)、飯塚雅信(CL) 計7名
- \* 天候：[3/23] 小雪、気温1度、風なし。（眺望：登山周囲は良し。山上はガス）  
[3/24] 早朝晴れのち曇り。気温2度→下山中10度、風なし（眺望：良好）
- \* 行程：
  - [3/23] 電車組と前泊組を茅野駅で車1台がピックアップ。残り1台と美濃戸口P集合。10:15 美濃戸口 →美濃戸山荘ゲート 12:10 →  
(北沢ルート) →13:10 堰堤広場 13:25 →15:50 赤岳鉱泉（泊）
  - [3/24] 6:00 朝食 →8:00 赤岳鉱泉発 →9:18 中山展望台 9:32 →  
→10:10 行者小屋 10:35 →(南沢ルート) →12:45 美濃戸山荘ゲート →  
14:00 美濃戸口 P下山。八ヶ岳山荘で休憩後 15:00 解散（車1台は電車組が同乗。他1台は別で、それぞれ帰路）。

数日前予報で、低気圧前線の影響で、暴風と雨(又は雪)の影響が懸念されましたが、2日目の登頂日は回復傾向の予報あり決行。初日は小雪の中、宿泊する赤岳鉱泉までゆっくりながら安定したペースで足並み揃い進みます。途中からアイゼン装着。数日間の降雪があり、高度が上がる程に新雪の樹林帯となっていく。会話も弾み、それぞれの動きも見え、安心する中で、宿泊する赤岳鉱泉に到着。



受付時に小屋職員から「新雪が乗り、状態はかなり悪い。硫黄岳への途中の“赤岩の頭”直下で雪崩のリスクがある。雪状態を見極められないなら、硫黄岳は行かない方が良い」と真剣な表情で助言されました。また、他宿泊客で登山ガイドの方から「この状態は行ける。直下で本来右に撒いて進むルートを、雪崩を避けるため直登する事で行ける」との考えのシェアが有りました。直ぐに飯塚Lに伝え、部屋で全体ミーティング。明日の山天気予報については悪くは無い。雪崩リスクをどう判断するか。明日、樹林帯を抜ける手前までは行ってみて、状況を判断してみるか、との意見が出ました。また、硫黄岳を断念して下山する場合は、行者小屋との間にある中山展望台で八ヶ岳の展望を味わおう、という提案もメンバーからありました。赤岳鉱泉ならではのステーキの夕食や談話も存分に味わい、定時に就寝。

翌朝すぐ飯塚Lから「やはり硫黄岳には行かず、中山展望台へ寄って下山しよう」との意思表示がありました。朝井SLも他参加メンバーも、一瞬考えた後、間もなく飯塚Lの方針に合意しました。その後は、参加者皆さん、気持ちを切り替えて、身支度のし直しなど、明

るく会話しながらされる様子は、とても前向きな雰囲気でした。ゆったりと会話や準備もした後、当初の硫黄岳登頂への予定より1時間遅らせ、赤岳鉱泉を出発。

途中の新雪が積もった広地で、今回の雪崩リスクへの理解を深める勉強として、弱層テストを試みました。いくつかの方法は有るのかもと思いますが、今回は、その場にある道具で可能な方法として、飯塚Lが持参されたスコップを用いて実施。飯塚Lのご指導と、他参加者からも知り得ている範囲での知識シェアも得ながら、その場に50cm程の四角柱を掘り出し、抱えずらすことで、被動性のギャップ層を見て感じるという事が出来ました。具体的には新雪表層より40cm程下部に氷結層が3cm程度、掘削中も確認でき、抱え動かす時もその層付近でのギャップを感じられたように思います。実際は、登山を進める時に行う評価法と思われませんが、勉強になりました。



その後に行った中山展望台では、天候も良かった為、大きく阿弥陀岳・赤岳・横岳が目の前に並び、そしてその先に硫黄岳の稜線が見えました。暫く展望を満喫した後、行者小屋、そして南沢ルートを経て、美濃戸口へ無事下山。特に怪我や体調不良なく、下山口のハヶ岳山荘では、じっくりティータイムを皆で味わい沢山の会話を楽しみ、解散となりました。



今回の山行では、残念ながら雪山の硫黄岳への登頂は叶いませんでした。皆、残念だったと思います。しかし、雪山でのリスクへの判断ということ、今回は何よりも大きなお土産として得たのではないかと思います。風もなく天候も良い中で、一見、楽しく登頂できそうにも思えますが、情報を得て、しっかり総合的な判断をリーダーがして下さったこと、そしてそれに従い、皆が前向きに学び、改めて楽しむ気持ちを持っていくことに、頭が下がる想いを抱けた清々しい山行でした。



## **【参加者感想】**

### **【那須朋美】**

集合のため八ヶ岳山荘に向かう途中小淵沢を過ぎたあたりから駐車場までどり着けるかも心配になるほどの雪景色でしたが、無事に楽しく参加できたので何よりでした。色々と本当に楽しかったです(\*^▽^\*)ﾌﾌﾌ♪

### **【塚越和子】**

赤岳鉱泉まで雪が降り続きましたが、冷たなくて、むしろ温かさを、感じる雪でした。多分、皆様とお話ししながら楽しく歩けたせいでしょうか。雨も雪もその時の気持ちによって温かく感じるものなんですね。硫黄岳は、残念でしたが、安全が1番ですし、美しい雪の八ヶ岳を、存分に楽しめました。皆様のお話も勉強になりました。ありがとうございました。

### **【高倉洋一】**

今回私にとっては、降雪下の歩行、装備の脱ぎ着も含めた雪山登山に慣れる機会になりました。また「弱層テスト」なるものを初めて知り、雪崩リスクに関心を持つきっかけにもなりました。朝井さんの周到な準備と飯塚さんの要所要所でのご判断・ご指導のお陰で、今シーズン最後の辺りの雪山山行を楽しむことができました。

### **【平本真二郎】**

雪が降る中、八ヶ岳山荘をスタートし登山靴のみで林道を歩く中でスリッパが多くなり、途中でアイゼンを装着しての歩行となりました。赤岳山荘からは本格的な雪道となり、新雪の中12本アイゼンの感触を感じながら赤岳鉱泉に到着しました。山小屋では晩御飯のステーキ、朝食の焼き魚を大変おいしく頂きました。翌日は雪の状態でコース変更となりましたが、晴天に恵まれ赤岳、阿弥陀岳の迫力の山容を見ることができ楽しい山行となりました。

### **【平本美恵子】**

ザクザクとアイゼンで歩くのが面白くてアツという間に山小屋に着き、到着後は部屋でのホッと一息のお茶けや夕食のステーキのボリューム満点に驚きながら美味しくワイワイと最高に楽しい時間を過ごせました。翌日は硫黄岳から中山展望台になりましたが、そこからの景色は見ごたえがあり大満足でした。また、雪崩の危険性を見る「弱層テスト」は貴重な体験となりました。楽しい山行をありがとうございました。

### **【飯塚雅信(CL)】\* 総括 \***

前日までの凍った氷の上に新雪が積もった状況は長い山歴でも初めてで、雪崩が心配で2日目急な変更をお願いしてしまいました。降りてきたら雪が解けていて初日の雪はどこに消えたのとキツネにつままれた気分でした。新雪の山でしたが、トレースが付いていてラッセルもなく、楽しい山行と感じていただければ幸いです。